

部局名	都市整備部	所属名	都市計画課	所属長名	藤井 信三	電 話	483-1151 内線3510
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4056		事務事業名称	公共施設循環バス運行事業						短縮コード	経常	4056	臨時	4186
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	04	都市計画費	目	01	都市計画総務費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市公共施設循環バスの運行に関する協定書 八千代市公共施設循環バス運行経費補助金交付要綱 八千代市公共施設循環バス通学児童運賃補助金交付要綱							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
市内の公共施設をより多く利用していただくために、必要な交通手段を確保することを目的として、平成10年3月から運行を開始した。 運行事業者に対して補助金を交付。 交通不便地域のために公共施設循環バスを利用して通学する児童の保護者に対して補助金を交付。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして						
・乗合バス事業の需給調整規制の廃止に伴い、バス事業者の不採算路線からの退出の自由度が増し、バス輸送の利便性の確保に関する公共側への要求が高まった。 ・公共施設循環バスの運行を開始してから、１０年以上が経過し、利用者の減少傾向及び住民の要望等を踏まえて、運行事業の見直しを行っている。						大項目（節）	01	交通						
						中 項 目	02	公共交通						
						小項目（施策）	02	バス輸送の充実						
						細 項 目	02	公共施設循環バスの充実						
					実 施 計 画 の 計 画 事 業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		平成10年3月 ～			計 画 事 業 費	千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	公共施設循環バス「ぐるっと号」を利用する市民（補助金交付先：東洋バス㈱・京成バス㈱・交通不便地域のために公共施設循環バスを利用して通学する児童の保護者）						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： 運行事業者に対して補助金を支出した。 交通不便地域のために公共施設循環バスを利用して通学する児童の保護者に対して補助金を支出した。						
	※平成23年度に計画していること： 運行事業者に対して補助金を支出する。 交通不便地域のために公共施設循環バスを利用して通学する児童の保護者に対して補助金を支出する。						
意図 （何を狙っているのか）	公共施設利用者の利便性を高める。						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	利用者1人当たりの運行経費	円	738	700	724	700
	指標 2	利用者1人当たりの補助金	円	608	600	604	700
	指標 3						
活動指標	指標 1	補助金額	千円	45, 534	46, 740	44, 322	48, 160
	指標 2						
	指標 3						
成果指標	指標 1	年間利用者数	人	74, 871	80, 000	72, 661	80, 000
	指標 2	1便平均利用者数	人/便	12. 1	13	11. 8	13
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード	4056	事務事業名称	公共施設循環バス運行事業			所属名	都市計画課	
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☒ その他			○交通不便地域の交通手段の確保 ○公共交通機関との役割分担 ○財政負担の軽減 を基本的な考え方として、運行の見直しの検討を行っている。			
		☐ 廃止・休止						
		☐ 事業完了						
		☐ 現状のまま継続						
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。	成 果		経 費			財政負担の軽減を含めた3つの基本的な考え方に沿って、地域の実情に合った見直しを行い、利用者のサービス向上を図る。	
削 減				不 変	増 加			
向 上				☒	☐	☐		
不 変				☐	☐	☐		
低 下		☐	☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
アンケート調査や市民要望では運行便数の増加や土日運行の要望があげられている。 議会では、デマンドシステムの導入検討についての要望があげられている。	

所属長コメント	公共施設循環バス運行事業については、第4次総合計画の中で地域の公共交通のあり方を計画的に位置づけ見直しを図っていく。	
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☒ その他	交通手段を持たない高齢者等の利便性の向上を図るため「対象」・「意図」を見直すこと。その際、方針の策定にあたっては課題解決に努め推進すること。
	☐ 廃止・休止	
	☐ 事業完了	
	☐ 現状のまま継続	